藤沢市民病院

健全経営推進計画 2027

令和７年度　取組状況について

2026 年（令和 8 年）7 月

藤沢市民病院

目　次

1　点検・評価の実施について 1
2　収支計画に対する決算の状況について 2
3　重点的な取組事項の評価一覧（総括） 4
4　数値目標の達成状況（総括） 6
5　総評と今後の課題・取組について 7

【付属資料】

資料１　重点的な取組事項の実施状況 9
1　役割・機能の最適化と連携の強化 9
2　医師・看護師等医療スタッフの確保と働き方改革 21
3　新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 25
4　施設・設備の最適化 26
5　経営の効率化等 28

資料２　数値目標の達成状況 30
※ＫＰＩ指標 30
1　医療機能に係るもの 32
2　医療の質に係るもの 33
3　連携の強化等に係る数値目標 34
4　収支改善に係るもの 34
5　収入確保に係るもの 34
6　経費削減に係るもの 37
7　経営の安定性に係るもの 38

1　点検・評価の実施について

藤沢市民病院健全経営推進計画では、令和６年度から令和９年度までの４年間で経営改善に取り組むこととし、各年度の取組状況については、決算時期に点検・評価を行うこととしています。今回令和７年度決算（見込）を踏まえ、点検・評価を実施いたしました。

(1) 点検・評価方法

点検・評価は具体的な取組ごとに、次のとおり行いました。

数値目標がないものについては定性評価

数値目標があるものについては定量評価

■定性評価基準

評価	区分	備考
A	実施中	計画どおり実施・継続
B	一部実施中	取組の一部が遅延又は未実施
C	未実施	未実施
D	再検討	取組の見直し等
終	終了	取組の期間満了又は終了

■定量評価基準

評価	区分
s	対計画比が 110%以上
a	対計画比が 100%以上 110%未満
b	対計画比が 80%以上 100%未満
c	対計画比が 80%未満

対計画比(%)＝実績/計画×100

(2) 点検・評価結果の公表について

点検・評価を行った結果については当院ホームページで公開します。

2 収支計画に対する決算の状況について

(1) 収益的収入及び支出

（単位：千円）

款 項 目　　節	令和5年度	令和6年度	令和7年度				令和8年度	令和9年度
		実績 (A)	計画 (B)	実績 (C)	対計画値 (C)-(B)	対前年度 (C)-(A)	計画	計画
病院事業収益	21,672,885	22,507,790	22,711,994	23,845,496	1,133,502	1,337,706	23,230,357	23,833,151
医業収益	19,458,144	20,363,616	20,598,637	21,097,096	498,459	733,480	21,132,548	21,755,048
入院収益	13,172,016	13,867,184	14,255,673	14,281,360	25,687	414,176	14,746,584	15,251,220
外来収益	5,835,064	6,057,293	5,919,513	6,344,179	424,666	286,886	5,953,615	6,062,364
その他医業収益	451,064	439,139	423,451	471,557	48,106	32,418	432,349	441,464
医業外収益	2,209,763	2,131,057	2,108,069	2,735,648	627,579	604,591	2,092,135	2,072,038
受取利息配当金	2,160	3,025	1,400	7,323	5,923	4,298	1,300	1,200
補助金	253,762	93,861	101,431	404,282	302,851	310,421	101,431	101,431
他会計負担金	1,487,418	1,592,166	1,592,166	1,808,192	216,026	216,026	1,592,166	1,592,166
他会計補助金	4,030	0	0	12,948	12,948	12,948	0	0
長期前受金戻入	299,024	298,604	292,396	290,047	▲ 2,349	▲ 8,557	276,487	256,414
その他医業外収益	163,369	143,401	120,676	212,856	92,180	69,455	120,751	120,827
特別利益	4,978	13,117	5,288	12,752	7,464	▲ 365	5,674	6,065
病院事業費用	22,290,081	23,596,625	23,708,256	24,841,649	1,133,393	1,245,024	23,923,686	24,139,290
医業費用	21,066,103	22,218,455	22,565,260	23,502,045	936,785	1,283,590	22,771,144	22,975,348
給与費	10,729,486	11,504,482	11,851,975	12,319,413	467,438	814,931	11,985,993	12,121,578
材料費	5,316,012	5,765,212	5,444,697	5,949,386	504,689	184,174	5,539,182	5,633,667
経費	3,568,797	3,549,697	3,736,998	3,681,965	▲ 55,033	132,268	3,773,661	3,796,855
委託料	2,381,002	2,369,848	2,420,605	2,528,246	107,641	158,398	2,425,446	2,430,297
減価償却費	1,383,403	1,329,722	1,445,851	1,476,541	30,690	146,819	1,386,532	1,337,434
資産減耗費	21,327	16,324	16,500	20,891	4,391	4,567	16,500	16,500
研究研修費	47,078	53,018	69,239	53,849	▲ 15,390	831	69,276	69,314
医業外費用	1,025,702	1,180,241	987,996	1,094,835	106,839	▲ 85,406	997,542	1,008,942
特別損失	198,276	197,929	155,000	244,769	89,769	46,840	155,000	155,000
医業損益	▲ 1,607,959	▲ 1,854,839	▲ 1,966,623	▲ 2,404,949	▲ 438,326	▲ 550,110	▲ 1,638,596	▲ 1,220,300
経常損益	▲ 423,898	▲ 904,023	▲ 846,550	▲ 764,136	82,414	139,887	▲ 544,003	▲ 157,204
純損益	▲ 617,196	▲ 1,088,835	▲ 996,262	▲ 996,153	109	92,682	▲ 693,329	▲ 306,139

（注）消費税及び地方消費税抜処理により作成

(2) 資本的収入及び支出

（単位：千円）

款 項 目　　節	令和5年度	令和6年度	令和7年度				令和8年度	令和9年度
		実績 (A)	計画 (B)	実績 (C)	対計画値 (C)-(B)	対前年度 (C)-(A)	計画	計画
資本的収入	803,028	1,255,507	686,490	633,726	▲ 52,764	▲ 621,781	686,877	687,268
企業債	605,300	1,057,400	488,000	426,600	▲ 61,400	▲ 630,800	488,000	488,000
一般会計負担金	197,728	198,107	198,490	198,490	0	383	198,877	199,268
国県庫補助金	0		0	8,636	8,636	8,636	0	0
資本的支出	1,799,291	3,157,478	1,592,078	1,562,842	▲ 29,236	▲ 1,594,636	1,905,381	2,092,701
建設改良費	1,069,864	2,245,884	828,156	799,895	▲ 28,261	▲ 1,445,989	825,618	893,710
施設整備費	123,685	804,426	186,725	194,669	7,944	▲ 609,757	186,725	236,610
委託料	123,685	782,701	186,725	194,669	7,944	▲ 588,032	186,725	236,610
工事請負費	0	21,725	0	0	0	▲ 21,725	0	0
固定資産購入費	946,179	1,441,458	641,431	605,226	▲ 36,205	▲ 836,232	638,893	657,100
医療器械等購入費	771,478	1,336,339	610,000	573,795	▲ 36,205	▲ 762,544	610,000	610,000
リース資産購入費	174,701	105,119	31,431	31,431	0	▲ 73,688	28,893	47,100
投資有価証券購入費	0	200,000	0	0	0	▲ 200,000	0	0
企業債償還金	729,427	711,594	763,922	762,947	▲ 975	51,353	1,079,763	1,198,991

(3) 現金保有残高・企業債残高

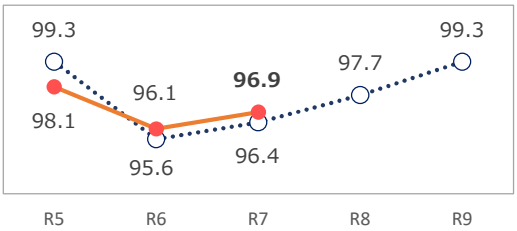
（単位：千円）

款 項 目　節	令和5年度 実績 (A)	令和6年度	令和7年度 計画 (B)	令和7年度 実績 (C)	令和7年度 対計画値 (C)-(B)	令和7年度 対前年度 (C)-(A)	令和8年度 計画	令和9年度 計画
現金保有残高	7,935,541	6,107,971	5,313,858	5,899,064	585,206	▲ 208,907	5,036,569	4,927,190
企業債残高	10,858,442	11,204,248	11,460,253	10,867,901	▲ 592,352	▲ 336,347	10,868,490	10,157,499

1　経常収支比率

（単位：%）

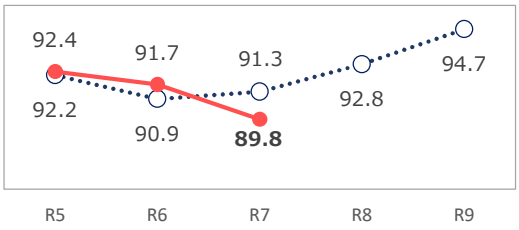
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	99.3	95.6	96.4	97.7	99.3	
実績	98.1	96.1	96.9			0.8pt
対計画比評価		100.5% a	100.5% a			



2　修正医業収支比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	92.2	90.9	91.3	92.8	94.7	
実績	92.4	91.7	89.8			▲ 1.9pt
対計画比評価		100.9% a	98.4% b			



【指標】

1 経常収支比率 ＝ $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$　医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標

2 修正医業収支比率 ＝ $\frac{(\text{医業収益} - \text{一般会計負担金})}{\text{医業費用}} \times 100$　病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標

【実績】

○ 医業収益については、入院延患者数及び病床稼働率の増加に伴う入院収益の増加などにより、計画値を4億9,846万円上回り、前年度実績についても7億3,348万円上回りました。一方、医業費用については、計画値を9億3,679万円上回りましたが、人事院勧告に伴う給与費改定や定数増などによる給与費の増のほか、原材料費やエネルギー価格の高騰に伴う材料費の増加などにより、前年度実績を12億8,359万円上回りました。

○ 医業損益については、24億494万9千円の赤字となり、計画値を4億3,832万5千円上回った結果、修正医業収支比率は89.8%となり、計画値を1.5ポイント下回りました。

○ 経常損益については、医業費用が大幅に増加しましたが、医業収益の増加に加え、国庫補助金・他会計負担金が増加したため、7億6,413万6千円の赤字となり、計画値を2億3,212万8千円下回りました。その結果、経常収支比率は96.9%となり、計画値を0.5ポイント上回りました。

○ 計画値に対する実績については、経常収支比率は国庫補助金・他会計負担金の増加により計画値を上回りましたが、修正医業収支比率が計画値を下回ったため、引き続き収益確保の取組を進める一方で、人件費・材料費等の費用削減に努めていく必要があります。

【課題や今後の取組等】

○ 入院延患者数の増加や病床稼働率の上昇などにより、医業収益は増加傾向にありますが、令和７年度以降も収益の増加以上に、人件費や原材料・エネルギー価格の高騰による支出の増加が見込まれます。

○ 令和8年度の診療報酬改定への迅速な対応及び分析を進めるとともに、施設基準の新規取得や算定漏れの防止を徹底し、確実な収益確保に取り組む必要があります。
また、今後本格化する再整備事業に合わせ、医療コンサルの視点も交えながら委託料を中心に仕様の見直しを進め、費用削減に取り組む予定です。

3 重点的な取組事項の評価一覧（総括）

標記	定性評価	定量評価
↗	：A（実施中）	対計画比が 100%以上
→	：B（一部実施中）	対計画比が　80%以上 100%未満
―	：C（未実施）	対計画比が　80%未満
□	：D（再検討）	
終	：終了	

重点的な取組事項	評価方法	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 役割・機能の最適化と連携の強化					
（1）地域医療高騰を踏まえた当院の果たすべき役割					
ア がん医療の推進	（定性）	→	→		
1 キャンサーボードの強化		↗	↗		
2 外来化学療法の体制強化		↗	↗		
3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充		↗	↗		
4 日帰り生検などの実施		―	終		
5 ロボット手術の更なる拡大		↗	↗		
6 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築		↗	↗		
イ 救急医療の推進	（定性）	→	↗		
1 時間外における入院患者受入れのあり方の検討		→	↗		
2 本院ICUの管理方法の見直し		―	―		
3 高齢者施設や在宅の高齢者の緊急入院及び連携施設への転院体制の検討		↗	↗		
ウ 病床数の見直し	（定性）	→	→		
エ その他	（定性）	→	→		
1 ゲノム診療体制の充実		↗	↗		
2 日帰り手術及びＩＶＲの導入の検討		↗	↗		
3 病棟総合医の育成の検討		□	□		
（2）地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能		↗	↗		
ア 在宅医療への部分的介入の検討	（定性）	↗	↗		
（3）機能分化・連携強化					
ア 医療ＤＸに基づくシステムネットワークのさらなる拡大	（定性）	↗	↗		
1 医療ＤＸに基づくシステムネットワークのさらなる拡大		↗	↗		
2 新規紹介患者の速やかな受入及び逆紹介の推進		↗	↗		
3 ＰＨＲの利活用の検討		→	→		
4 インターネットを活用した地域施設及び患者さんへの情報発信の強化		↗	↗		
（4）住民の理解促進のための取組					
ア 住民の理解促進のための取組	（定性）	↗	↗		
1 ホームページ		↗	↗		
2 市民公開講座		↗	↗		
3 広報誌		↗	↗		
4 患者満足度アンケート調査患者ご意見箱		↗	↗		
5 各種イベントの開催		↗	↗		

重点的な取組事項	評価方法	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
2 医師・看護師等医療スタッフの確保と働き方改革					
（1）医師・看護師等医療スタッフの確保	（定性）	↗	↗		
1 大学医局との連携強化及び良好な関係の維持		↗	↗		
2 積極的な学生実習の受入れ		↗	↗		
3 特定看護師の育成と活用		↗	↗		
4 勤務環境の整備		↗	↗		
（2）臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保	（定性）	↗	↗		
1 初期臨床研修を修了した若手医師などを対象とした各種専門研修の実施		↗	↗		
2 シミュレーションセンターの整備		終	→		
（3）医師・看護師等医療スタッフの働き方改革への対応	（定性）	→	→		
1 タスクシフトによる業務の見直しやチーム医療の推進		↗	↗		
2 医師事務作業補助員等の配置強化に向けた採用形態と育成体制の構築		↗	↗		
3 勤怠システムの適切な運用		→	→		
4 勤務時間の検討		→	→		
5 勤務時間外業務の見直し		→	→		
3 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組					
（1）新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	（定性）	↗	↗		
1 ＢＣＰ（業務継続計画）の見直し		↗	↗		
2 医療機器や施設の整備等		↗	↗		
3 地域の医療機関との連携		↗	↗		
4 専門人材の確保及び育成		↗	↗		
4 施設・設備の最適化					
（1）施設・設備の適正管理と整備費の抑制	（定性）	↗	↗		
1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組		↗	↗		
2 高額医療器械の更新計画に基づく購入		↗	↗		
（2）デジタル化への対応	（定性）	↗	↗		
1 電子カルテシステムの更新に向けた取組		↗	↗		
2 各種システムの導入・更新に向けた取組		↗	↗		
3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進		→	↗		
4 情報セキュリティ対策の推進		↗	↗		
5 経営の効率化等					
（1）目標達成に向けた具体的な取組					
ア 費用の縮減	（定量）	↗	→		
イ 組織改正及び定数の見直し	（定量）	↗	↗		
ウ 診療報酬の確保	（定量）	↗	↗		

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
A	↗	44	46		
B	→	11	10		
C	ー	2	1		
D	□	1	1		
	終	1	1		
	合計	59	59		

4 数値目標の達成状況（総括）

No.	具体的な取組事項	単位	令和5年度	令和6年度 実績 (A)	令和7年度 計画 (B)	令和7年度 実績 (C)	令和7年度 対計画比 (%)		対計画値 増減数 (C)-(B)	対前年度 増減数 (C)-(A)	令和8年度 計画	令和9年度 計画
ＫＰＩ指標												
1	新入院患者数	人	16,045	16,000	16,660	16,053	96.4	b	▲ 607	53	16,970	17,290
2	病床稼働率	%	81.2	85.4	83.6	85.7	102.5	a	2.1	0.3	85.1	86.4
3	平均在院日数	日	9.9	10.4	9.8	10.4	94.2	b	0.6	0.0	9.8	9.8
4	入院患者1人1日当たり診療収入	円	82,661	83,042	87,180	85,193	97.7	b	▲ 1,987	2,151	88,600	90,000
5	修正医業収支比率	%	92.4	91.7	91.3	89.8	98.4	b	▲ 1.5	▲ 1.9	92.8	94.7
6	修正給与費等負荷率	%	92.7	95.0	94.2	98.0	96.1	b	3.8	3.0	92.4	90.3
医療機能に係るもの												
7	手術件数	件	5,763	5,740	6,141	6,084	99.1	b	▲ 57	344	6,282	6,424
8	救急車搬送受入患者数	人	10,914	10,313	10,200	10,282	100.8	a	82	▲ 31	10,400	10,600
9	分娩件数	件	521	481	550	425	77.3	c	▲ 125	▲ 56	550	550
医療の質に係るもの												
10	入院患者満足度総合評価	%	92.1	91.8	90.0	91.1	101.2	a	1.1	▲ 0.7	90.0	90.0
11	外来患者満足度総合評価	%	82.8	78.9	83.0	81.7	98.4	b	▲ 1.3	2.8	84.0	85.0
12	ＤＰＣ特定病院群の「設定要件」充足項目数（3cを除く8項目）		8/8	-	8/8	7/8	-	-	-	-	-	8/8
連携の強化等に係るもの												
13	紹介患者数	人	22,456	22,567	22,500	23,090	102.6	a	590	523	22,750	23,000
14	逆紹介患者数	人	18,664	19,103	19,850	19,037	95.9	b	▲ 813	▲ 66	20,420	21,000
収支改善に係るもの												
15	経常収支比率	%	98.1	96.1	96.4	96.9	100.5	a	0.5	0.8	97.7	99.3
*	修正医業収支比率	%	92.4	91.7	91.3	89.8	98.4	b	▲ 1.5	▲ 1.9	92.8	94.7
収入確保に係るもの												
*	新入院患者数		16,045	16,000	16,660	16,053	96.4	b	▲ 607	53	16,970	17,290
16	1日当たり入院患者数	人	435	458	448	459	102.5	a	11	1	456	463
17	1日当たり外来患者数	人	1,236	1,211	1,248	1,226	98.2	b	▲ 22	15	1,254	1,260
*	入院患者1人1日当たり診療収入	円	82,661	83,042	87,180	85,193	97.7	b	▲ 1,987	2,151	88,600	90,000
18	外来患者1人1日当たり診療収入	円	19,415	20,585	19,600	21,381	109.1	a	1,781	796	20,420	21,000
*	病床稼働率	%	81.2	85.4	83.6	85.7	102.5	a	2.1	0.3	85.1	86.4
*	平均在院日数		9.9	10.4	9.8	10.4	94.2	b	0.6	0.0	9.8	9.8
経費削減に係るもの												
*	修正給与費等負荷率	%		95.0	94.2	98.0	96.1	b	3.8	3.0	92.4	90.3
19	職員給与費対医業収益比率	%	55.1	56.5	57.5	58.4	98.5	b	0.9	1.9	56.7	55.7
20	材料費対医業収益比率	%	27.3	28.3	26.4	28.2	93.6	b	1.8	▲ 0.1	26.2	25.9
21	経費対医業収益比率	%	18.3	17.4	18.1	17.5	103.4	a	▲ 0.6	0.1	17.9	17.5
22	委託費対医業収益比率	%	12.2	11.6	11.8	12.0	98.3	b	0.2	0.4	11.5	11.2
23	減価償却費対医業収益比率	%	7.1	6.5	7.0	7.0	100.0	a	0.0	0.5	6.6	6.1
経営の安定性に係るもの												
24	現金保有残高	百万円	7,936	6,108	5,314	5,899	111.0	s	585	▲ 209	5,037	4,927
25	企業債残高	百万円	10,859	11,204	11,460	10,868	105.4	a	▲ 592	▲ 336	10,868	10,157

※　消費税及び地方消費税抜処理により作成

※　＊は再掲

※　No.3、6、20～23、25 は数値が小さいほうが高評価

■定量評価基準

評価	区分
s	対計画比が 110%以上
a	対計画比が 100%以上 110%未満
b	対計画比が 80%以上 100%未満
c	対計画比が 80%未満

対計画比(%)＝実績/計画×100

s	1
a	10
b	12
c	1
-	1
合計	25 （再掲は除く）

5　総評と今後の課題・取組について

令和 7 年度は、「藤沢市民病院健全経営推進計画 2027」の 4 か年計画における 2 年目にあたります。病院事業の経営強化に取り組むために掲げた 3 つの目指す方向性である「市民へのより良い医療の提供」「業務運営の改善と効率化」「収支改善と持続可能な経営の確保」に基づき、様々な取組を進めました。

令和 7 年度の収支計画に対する決算状況については、収益的収支における収入は、主に入院・外来収益が増加したことなどから計画値を上回りました。また、支出は給与費、材料費、経費全て計画値を上回り、経常損益は計画値に対して 8,241 万 4 千円改善し、7 億 6,413 万 6 千円となり、前年度との比較では 1 億 3,988 万 7 千円改善しました。

また、資本的収支における収入は、計画値を 5,276 万 4 千円下回り、支出は計画値を 2,923 万 6 千円下回りました。なお、現金保有残高については、計画値を 5 億 8,520 万 6 千円上回りましたが、前年度と比較して 2 億 890 万 7 千円減少しております。

令和 7 年度の収支状況は計画値と同水準でしたが、国の物価高騰対応に伴う緊急支援や経営改善交付金等の財政措置による下支えがありました。しかしながら、令和 8 年度以降は同様の臨時支援が継続される可能性は低く、依然として厳しい財務状況が続く見通しです。さらに人件費やエネルギー価格、物価の高騰への対応に加え、西館等再整備事業も本格化するため、資金の確保が喫緊の課題となっております。

令和 8 年度の診療報酬改定に向けて、改定内容の分析と施設基準の検証を進め、新たな加算を確実に取得できる体制の整備を進めるとともに、紹介・逆紹介の推進等により患者を確保し、収益確保に努めます。一方で、費用削減の取組として、各種委託料の仕様の見直しや業務効率化を推進するほか、施設・設備の適正管理による整備費の抑制を図ります。これら収益確保と費用削減に向けた取組を継続し、将来にわたり持続可能な病院経営が行えるよう経営強化に努めてまいります。

資料１　重点的な取組事項の実施状況

1 役割・機能の最適化と連携の強化

（1）地域医療構想を踏まえた当院の果たすべき役割

ア　がん医療の推進	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
（定性）	B	**B**		

取組内容（総括）	がん患者さんに対する標準的な治療（手術、化学療法、放射線治療）の体制充実をはじめ、適切ながん指導や相談・ケアの充実、専門的なスタッフの育成を進めます。今後、二次医療圏（湘南東部医療圏）における、がん機能の均てん化・集約化に向けた議論を他医療機関と進めます。

（ア）がんトータルケア体制の充実

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 キャンサーボードの強化	A	**A**		
2 外来化学療法の体制強化	A	**A**		
3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充	A	**A**		

点検・評価

1 キャンサーボードの強化

○ キャンサーボード（がん疾患カンファレンス）の実施体系として、全体（がん遺伝子パネル検査、臓器横断症例等）・臓器別（肺がん、乳がん等）・各診療科の日常的なカンファレンスに分かれて実施しております。令和6年度は「骨転移キャンサーボード」を新たに組み入れ、多職種による定期的な症例検討を行うようにいたしました。

2 外来化学療法の体制強化

○ 令和7年度の外来化学療法の実施件数は7,100件で、前年度と比較して9件増加しました。多様化する抗悪性腫瘍剤に適切に対応できるよう薬剤師による指導の充実やがん専門研修修了スタッフの育成を進めてまいります。

3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充

○ がん相談支援センターと緩和ケアセンターの一部業務を統合するなど業務連携体制を強化し、がん患者さんが相談しやすい環境づくりや指導・ケアの充実に努めております。

数値・指標

1 キャンサーボード実施回数

（単位:件）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
全体	開催数	9	18	17	22	5
	検討症例数	10	35	46	59	13
骨転移	開催数	－	5	11	15	4
	検討症例数	－	22	47	16	▲ 31

※2024年年度(令和6年度)から本格運用開始

2 外来化学療法治療件数

（単位:人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
延患者数	7,058	7,151	7,091	7,100	9

3 ピアサポート支援件数、がんサロン実績、ウィッグ相談会開催件数など

（単位:人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
がん相談利用者数	1,942	1,468	1,233	1,586	353
ピアサポート利用者数	33	47	71	64	▲ 7
がんサロン利用者数	36	84	94	115	21
お仕事相談利用者数	5	4	2	0	▲ 2

4 がん患者指導管理料算定件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
がん患者指導管理料イ	321	375	410	666	256
がん患者指導管理料ロ	275	145	521	1,454	933

（イ）診断から短期間での治療開始が可能な体制の確保

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 日帰り生検などの実施	C	**終**		
2 ロボット手術の更なる拡大	A	**A**		

取組・実績

1 日帰り生検などの実施

○ 現状では、生検後の予後の安全面等を考慮し、短期入院での実施を継続していくこととしました。

2 ロボット手術の更なる拡大

○ 令和7年度の手術支援ロボットによる手術実績は194症例で、前年度と比較して28症例増加しました。

令和8年度の診療報酬改定では、ダヴィンチなどのロボット支援手術を行う病院に対して加算が新設されたこともあり、年間200症例以上の確保を目指します。

指標等

1 診療科別ダビンチ件数（ホギ　手術統計より）

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
泌尿器科	86	67	80	95	15
消化器外科	27	41	52	67	15
婦人科	42	32	33	32	▲ 1
呼吸器外科	－	－	1	0	▲ 1
合計	155	140	166	194	28

（ウ）神奈川県立がんセンターとの連携強化

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築	A	**A**		

取組・実績

1 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築

○ 引き続き、患者さんが切れ目なく適切ながん治療が受けられるよう、がんセンター等との診療連携に努めております。特にがん遺伝子パネル検査の実施においては、出検前やエキスパートパネルの実施後に、必要に応じてがんセンターへの症例相談が行える体制を構築し、患者さんの状態に適したタイミングでの検査の実施に努めております。

イ　救急医療の推進

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
B	**A**		

取組内容（総括）

高齢患者さんの増加に伴う緊急入院の需要増に対応できるよう、救急病棟と一般病棟の病床運営のあり方を検討するとともに、適切なタイミングで転院搬送が行えるよう地域医療機関との連携強化に努めます。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 時間外における入院患者受入れのあり方の検討	B	**A**		
2 本院ICUの管理方法の見直し	C	**C**		
3 高齢者施設や在宅の高齢者の緊急入院及び連携施設への転院体制の検討	A	**A**		

取組・実績

1 時間外における入院患者受入れのあり方の検討

緊急入院、病床運用の在り方の検討

○ 2025年（令和7年）3月に緊急入院患者さんのスムーズな受入や適切なタイミングでの転棟が行えるよう病床（主たる診療科）の再編成を実施いたしました。また、同年9月から夜間帯の緊急入院を一部の本院病棟で受入れる運用を開始しました。

2 本院ICUの管理方法の見直し

○ 本院ICUにおいては、他医療機関からの遠隔管理（特定集中治療室遠隔支援加算）の導入を含めた新たな管理方法について、継続して検討を進めます。

○ 本院HCU（ハイケアユニット）の設置について、西館等再整備事業の枠組みにおいても導入の検討を進めました。

3 高齢者施設や在宅の高齢者の緊急入院及び連携施設への転院体制の検討

○ 高齢者に多い誤嚥性肺炎や尿路感染症などの患者さんを中心に、当院受診後、適切なタイミングで転院が行えるよう地域医療機関とのスムーズな連携に努めました。

数値・指標

1 救命救急入院料の延算定件数

（単位:人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
救命救急入院料1	5,003	5,531	6,244	6,218	▲ 26
救命救急入院料4	1,436	1,479	1,575	1,532	▲ 43

2 救急患者連携搬送診療料の算定件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
救急患者連携搬送診療料	－	－	4	21	17

※2025年(令和7年)1月から開始

ウ　病床数の見直し

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
B	**B**		

取組内容（総括）	コロナ禍前と比較し、病床稼働率は同水準まで戻っていないことから、中期的視点に立って、病床数や病床機能のあり方について検討を行ってまいります。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 地域医療構想を踏まえた機能ごとの病床数及び病床機能の見直し	B	**B**		

取組・実績

1 地域医療構想を踏まえた機能ごとの病床数及び病床機能の見直し

○ 病院全体の病床稼働率は、令和5年度は81.2%、令和6年度は85.4%、令和7年度は85.7%で推移しておりますが、コロナ禍前（平成30年度）の88.9%の水準には戻っておりません。引き続き入院患者の確保に努めるとともに、地域医療構想調整会議における病床数や病床機能の検討内容、診療報酬や患者需要の動向等を踏まえ、必要な病床数について検討を進めます。

数値・指標

1 病床稼働率推移

（単位:%）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
病床稼働率	77.2	81.2	85.4	85.7	0.3

エ　その他

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
B	**B**		

取組内容（総括）	今後、更なる需要の増加が見込まれるゲノム診療や日帰り手術について、運用を整備し段階的に実施拡大を行っております。また、複合的な疾患や生活背景が複雑な患者さんに柔軟に対応できる体制整備を進めてまいります。

（ア）ゲノム医療の推進

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 ゲノム診療体制の充実	A	**A**		

取組・実績

1 ゲノム診療体制の充実

○ 臨床遺伝専門医によるカウンセリング体制を有し、「固形がんに対するがん遺伝子パネル検査」や「自費診療の出生前診断検査」、「リンチ症候群検査」や「未発症血縁者に対するBRCA検査」など段階的に対応検査を拡大しております。「造血器腫瘍に対するがん遺伝子パネル検査」についても、令和8年度からの開始に向け運用を構築しました（2026年4月に2例実施）。

数値・指標

1 ゲノム検査（エキスパートパネル件数）

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
がん遺伝子パネル検査	28	28	29	30	1
遺伝カウンセリング加算件数	53	44	54	56	2
出生前診断検査件数	30	83	83	100	17
BRCAシングルサイト検査件数	－	－	2	1	▲ 1
リンチ症候群検査件数	－	－	1	3	2

（イ）低侵襲性治療の拡充

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 日帰り手術及びＩＶＲの導入の検討	A	**A**		

取組・実績

1 日帰り手術及びＩＶＲの導入の検討

○ 消化器内科、形成外科、眼科、腎臓内科、整形外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科において日帰り手術、放射線診断科においてIVRの運用体制を構築し、患者さんの状態等に応じて、入院か外来日帰り手術かの適応を判断し、実施しました。
令和７年度は、IVRに使用する血管撮影装置の更新を行ったため、件数は前年度と比較して20件、11.8%減少しました

数値・指標

1 短期滞在手術等基本料１の算定件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
消化器内科	203	441	488	513	25
形成外科	16	62	50	36	▲ 14
眼科	－	0	8	32	24
腎臓内科	－	0	5	6	1
整形外科	－	0	4	20	16
乳腺外科	－	0	2	12	10
合計	219	503	557	619	62

2 日帰りIVR件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
算定件数	145	172	169	149	▲ 20

（ウ）病棟総合医の育成の検討

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 病棟総合医の育成の検討	D	**D**		

取組・実績

1 病棟総合医の育成の検討

○ 令和7年度においては具体的検討には至っておりませんが、複合的な疾患や生活背景が複雑な患者さんの増加も見込まれることから、各専門診療科の体制などを踏まえ、効率的な病棟運営に向けて、当院における病棟総合医のあり方等について検討を行ってまいります。

（2）地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

ア　在宅医療への部分的介入の検討

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
A	**A**		

取組内容（総括）	高齢化が進み、退院後の在宅での療養に不安を抱える患者さんも増加することから、適切に在宅医療（訪問看護、介護医療等）につなげられるよう、退院直前・直後における在宅指導を開始しました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 在宅医療への部分的介入の検討	A	**A**		

取組内容

1 在宅医療への部分的介入の検討

○ 導入から3年が経過した「退院前訪問指導料算定件数」は、前年度と同水準で推移しています。今後も患者・家族のニーズをくみ上げ、当院と地域の在宅医療（訪問看護、介護医療等）を結ぶ橋渡し役として、退院直前・直後における在宅指導を継続してまいります。

数値・指標

1 退院前訪問指導料算定件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
算定件数	0	2	7	5	▲2

（3）機能分化・連携強化

ア　医療ＤＸに基づくシステムネットワークのさらなる拡大	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	少子高齢化が進み、医療需要が拡大する一方で、医療人員不足は今後さらに深刻化する見込みとなります。今まで以上に少ない人的リソースで、多くの高齢患者を支えなくてはならないことから、患者さんの利便性向上と医療職の業務効率化を図るためのシステム導入について検討いたしました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 医療ＤＸに基づくシステムネットワークのさらなる拡大	A	**A**		
2 新規紹介患者の速やかな受入及び逆紹介の推進	A	**A**		
3 ＰＨＲの利活用の検討	B	**B**		
4 インターネットを活用した地域施設及び患者さんへの情報発信の強化	A	**A**		

取組内容

1 医療ＤＸに基づくシステムネットワークのさらなる拡大

○ 病々・病診等連携クラウドシステム「つながるネット」への加入施設数は、湘南東部二次保健医療圏において56施設となりました。2026年（令和8年）からは、地域医療機関との紹介状や画像情報の共有を開始し、効率的かつ質の高い医療機関連携を推進してまいります。

2 新規紹介患者の速やかな受入及び逆紹介の推進

○ 診療申込書（FAX申込）の内容を簡素化し、地域医療機関の負担軽減を図りました。また、Web診療予約申込システムについて、2026年（令和8年）4月から導入を開始する予定です。

○ 地域医療機関への訪問件数は令和6年度の141件に対して、令和7年度は332件と増加し、地域連携活動の強化に努めました。

3 ＰＨＲの利活用の検討

○ 国（厚生労働省）が進める「医療DX令和ビジョン2030（電子処方箋、電子カルテ情報共有サービス等）」や全国の各地域ごとに運用されている「クラウド型地域医療連携システム」などの動向を注視するとともに、導入に必要なコスト等の情報収集を行い、適切なタイミングで運用開始が行えるよう検討を進めてまいります。

4 インターネットを活用した地域施設及び患者さんへの情報発信の強化

○ 連携登録医に対し、定期的にメールによる情報発信を行いました。また公式LINEやホームページにおいて、患者さんや市民へタイムリーに情報発信を行いました。

数値・指標	**1 つながるネット利用施設数**

（単位:件）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
病院	14 (14)	14 (14)	26 (24)	31 (24)	30 (23)
介護施設(老健･特養)	－	－	10 (9)	13 (12)	11 (10)
診療所	－	－	21 (21)	24 (24)	23 (23)
合計	14 (14)	14 (14)	57 (54)	68 (60)	64 (56)

( )内の数字は湘南東部二次医療圏(藤沢･茅ヶ崎･寒川)の機関数

（4）住民の理解促進のための取組

住民の理解促進のための取組	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	ホームページにおいて診療科やチーム医療等に関する内容の充実に努めるとともに、お知らせや看護部ブログ等ではタイムリーな情報発信に努めました。今後は掲載内容の充実を図るとともに、見やすさ、操作性、利便性の向上を検討してまいります。その他市民公開講座の開催や広報誌の発行など市民に向けた情報の発信に努めました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 ホームページ	A	**A**		
2 市民公開講座	A	**A**		
3 広報誌	A	**A**		
4 患者満足度アンケート調査患者ご意見箱	A	**A**		
5 各種イベント	A	**A**		

取組内容

1 ホームページ

○ ホームページの委託業者とアクセス数の解析データを基に打合わせを行い、閲覧数が多いページの傾向等を把握し、内容の充実、容易にアクセスできる動線、視認性の向上等について検討・改善に努めました。

○ 藤沢市公式ＬＩＮＥの活用

2025年（令和７年）3月に、藤沢市公式LINEに市民病院のメニューを追加し、当院ホームページへのアクセスの向上や多くの市民（登録ユーザー）への情報発信が行える環境を整備しました。

また、通院に関して分からないことなど、情報が取得しやすいように『チャットボット』機能を活用し、更なる利便性の向上に努めました。

○ 寄附金の受入れ促進

ホームページに寄附金に関する案内を掲載し、寄附の目的や手続きの周知を図りました。その結果、令和7年度の寄附金額は前年度（令和6年度）と比較して大幅に増加しました。

2 市民公開講座

○ 毎月1回、zoomでのオンライン市民公開講座を開催しておりますが、患者さんや市民の方々に興味を持っていいただけるテーマを選定し、分かりやすい内容となるよう努めました。

3 広報誌

○ 年2回広報誌「ふれあい」を発行し、新たな医療器械の導入なども含めた、病院の最新情報を発信することで、市民病院を選んでいただけるよう努めました。

取組内容	**4 患者満足度アンケート調査、患者ご意見箱** ○ 院内に患者さんからのご意見をいただく意見箱を設置し、院内の業務改善や患者満足度の向上に努めました。 ○ 外来患者満足度調査 令和7年度は、11月10日から11月14日の計5日間で実施いたしました。総合評価の計画値として83.0%を設定しましたが、実績は81.7%となり、達成度は98.4%となりました。前年度の実績からは2.8ポイント上昇しました。 ○ 入院患者満足度調査 令和7年度は、10月27日から1月30日の計3か月間で実施しました。総合評価の計画値として90.0%を設定しましたが、実績は91.1%となり、達成度は101.2%となりました。具体的なご意見として、季節の変わり目における急激な寒暖差も影響しますが、院内の空調管理に対するご指摘が複数寄せられました。今後検討を進める西館等再整備事業と併せて、患者さんが快適に療養できる環境づくりの対応を検討してまいります。 **5 各種イベントの開催** ○ 開院記念行事やお仕事体験ツアーなど、市民の方々に当院を知っていただき、選んでいただけるよう、各種イベントを行いました。 ・ 藤沢市民病院お仕事体験ツアーの実施　8月 ・ 藤沢市民病院開院記念市民公開講座　10月 ・ 藤沢市広報ラジオ番組「ハミングふじさわ」における病院紹介コーナーでインタビューを放送　毎月
数値・指標	**1 ホームページ** 寄付金額の推移 （単位：千円） 令和5年度：令和6年度：令和7年度：対前年増減数 寄付金額：350：210：4,250：4,040

2 医師・看護師等医療スタッフの確保と働き方改革

（1）医師・看護師等医療スタッフの確保

医師・看護師等医療スタッフの確保	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	質の高い医療提供体制を確保するため、関係機関との連携強化に努めるとともに、勤務環境を整備することでそれぞれのライフスタイルに合わせた働き方を促進し、医療スタッフの確保に努めました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 大学医局との連携強化及び良好な関係の維持	A	**A**		
2 積極的な学生実習の受入れ	A	**A**		
3 特定看護師の育成と活用	A	**A**		
4 勤務環境の整備	A	**A**		

取組内容

1 大学医局との連携強化及び良好な関係の維持

○ 定期的に関連大学医局へ医師の派遣要請を行い、医師の確保に努めました。

2 積極的な学生実習の受入れ

○ 病院見学者298人、学生実習263人を受入れ、人材の育成に寄与しました。

3 特定看護師の育成と活用

○ 新たに4人が特定行為研修を修了し、計9名の特定看護師の活用により、病院機能の充実を図りました。

○ 特定行為研修指定研修機関として、より医師とのタスクシフト・タスクシェアを図るため、令和７年度に特定行為区分として「透析管理関連」を開講しました。令和８年度においても、引き続き５月に開講しております。

4 勤務環境の整備

○ 仕事と家庭の両立を図り、新たな勤務時間の設定や時間外勤務の制限・免除といった各制度の周知を引き続き行い、柔軟な働き方を選択できる環境の整備を行いました。

数値・指標

1 病院見学者

（単位:件）

	令和6年度	令和7年度
医学生	279	298
上記以外	6	0

2 学生実習

（単位:人）

	令和6年度	令和7年度
診療部	73	49
看護部	90	170
放射線室	5	5
薬局	12	11
栄養室	17	17
リハビリテーション室	3	2
臨床工学室	3	3
患者総合支援センター	10	2
医事課	1	4
合計	214	263

	3 特定行為研修修了者 令和5年度以前特定行為研修修了者　2人 令和6年度特定行為研修修了者　5人 （特定行為8区分・11行為について研修を修了済） 令和7年度特定行為研修修了者　2人

（2）臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保

臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	専門研修プログラムの下、人材育成・確保に努め、質の高い医療提供体制の確保に努めました。 また、2026年4月の臨床研修センター設置に向けて体制構築を進めました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 初期臨床研修を修了した若手医師などを対象とした各種専門研修の実施	A	**A**		
2 シミュレーションセンターの整備	終	**B**		

取組内容

1 初期臨床研修を修了した若手医師などを対象とした各種専門研修の実施

○ 豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、4つの専門研修プログラムを実施しました。

○ 研修環境を拡充するため、2026年4月の臨床研修センター設置に向けた体制構築を進めました。

2 シミュレーションセンターの機能充実

○ 令和6年度に多職種にて利用可能なシミュレーションセンターを整備いたしました。今後訓練設備や利便性の向上など機能の充実を図ってまいります。

（3）医師・看護師等医療スタッフの働き方改革への対応

医師・看護師等医療スタッフの働き方改革への対応	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	B	**B**		

取組内容（総括）	年休の取得促進や時間外勤務の削減に努め、勤怠管理システムを活用した適切な労務管理に努めるとともに、タスクシフト・タスクシェア及びチーム医療の推進を図りました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 タスクシフトによる業務の見直しやチーム医療の推進	A	**A**		
2 医師事務作業補助員等の配置強化に向けた採用形態と育成体制の構築	A	**A**		
3 勤怠システムの適切な運用	B	**B**		
4 勤務時間の検討	B	**B**		
5 勤務時間外業務の見直し	B	**B**		

取組内容

1 タスクシフトによる業務の見直しやチーム医療の推進

○ 医師事務作業補助員を外来の14科に配置し、各種オーダーの代行入力や新患患者さんの紹介状及び外来問診票の電子カルテへの入力業務等を行い、医師の業務負担を軽減しました。

○ 各部門において、タスクシフトや業務効率化が望まれる項目を設定し、働き方改革推進会議にて進捗状況を確認しながら実現に向けて取組を進めました（例：web説明動画システムの導入による説明動画の作成、病棟薬剤師による積極的な服薬指導、助産師外来の拡大・強化など）。

2 医師事務作業補助員等の配置強化に向けた採用形態と育成体制の構築

○ 人員確保では、新卒採用に向けた専門学校への訪問、院内での医師事務作業補助員の説明会を実施しました。

3 勤怠システムの適切な運用

○ 勤怠管理システムを活用し、連続当直の発生を防ぐ勤務計画を策定することで適正な労務管理を実施しました。また、4月に退勤時間と時間外勤務申請時間の乖離について調査・分析を行い、適正な労務管理に努めました。

4 勤務時間の検討

○ 各部署ごとに新しい勤務時間枠を追加し、業務効率化を進めるとともに人員確保に努めました。また、手術室においては土日の拘束対応（オンコール体制）から通常勤務（シフト制）への移行を進めました。

5 勤務時間外業務の見直し

○ カンファレンス、院内委員会等の開催及び患者さんやご家族への病状説明を勤務時間内に行うよう業務の見直しを図り、院内への周知徹底に努めました。また、患者説明動画の作成・活用を推進し、業務の効率化を図りました。

3 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	新興感染症等への対応として、院内体制としてBCP（業務継続計画）の作成を進めるとともに、資機材の整備及び維持、人材育成に努めました。また、平時から地域の医療機関との連携強化を図りました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 BCP（業務継続計画）の見直し	A	**A**		
2 医療機器や施設の整備等	A	**A**		
3 地域の医療機関との連携	A	**A**		
4 専門人材の確保及び育成	A	**A**		

取組内容

1 ＢＣＰ（業務継続計画）の見直し

○ 地域住民が安心して治療を受けられる体制を確保することにより、患者さんの健康・生命を守るため、「藤沢市民病院事業継続計画（BCP）」及び「災害対応マニュアル」を令和7年度に更新しました。また「藤沢市民病院　感染症流行時における業務継続計画(BCP)」を2025年（令和7年）5月に策定しました。

2 医療機器や施設の整備等

○ 感染対策資機材の確保に努めるとともに、既に導入している感染対策のための医療器械を安定的に使用できるように、定期的なメンテナンスを実施しました。

3 地域の医療機関との連携

○ 感染対策向上加算1の施設基準に基づき、地域医療機関と定期的なカンファレンスや相互チェックを行い、感染拡大時に備えた取組を実施しました。

○ 令和7年度の連携医療機関とのカンファレンスを6回実施しました。

4 専門人材の確保及び育成

○ 医療従事者の感染症に関する知識の向上を目的として、感染対策講習会等の院内研修を実施しました。

○ 専門人材の育成・養成の観点より、感染領域における認定看護師の資格を1名が新規取得しました。

4 施設・設備の最適化

（1）施設・設備の適正管理と整備費の抑制

（1）施設・設備の適正管理と整備費の抑制	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	西館・救命救急センター等の老朽化に伴い、再整備について検討を進めるとともに、高度で質の高い医療の提供を継続するために、計画に基づき医療器械の更新を行いました。

評価	

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組	A	**A**		
2 高額医療器械の更新計画に基づく購入	A	**A**		

取組内容	**1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組** ○ 藤沢市民病院西館等再整備基本計画の策定 老朽化が著しい西館・救命救急センター等の再整備について検討を進め、建物現況調査を実施し、基本計画の策定工程を２段階に分け、第１段階として最適な整備手法の検討や概算事業費の算出などを行いました。 **2 高額医療器械の更新計画に基づく購入** ○ 高額医療器械については、保守・修理サービス対応が終了する時期を見極め、計画的に更新しました。 ○ 令和7年度には再整備事業における基本計画の策定に合わせて、医療器械の更新計画を策定しました。
数値・指標	**1 令和７年度の資産購入状況（2,000万円以上）** ・ ＩＶＲ－ＣＴシステム一式（放射線室/放射線診断科） ・ 自動採血管準備システム一式（臨床検査室） ・ 外科用イメージングシステム（Ｘ線テレビ装置）（放射線室） ・ 生体情報モニター等一式（４Ｃ）（ＭＥ室/看護部） ・ ＮＩＣＵ用モニタリングシステム（ＭＥ室）

（2）デジタル化への対応

（2）デジタル化への対応	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	生産年齢人口の減少に伴い、医療スタッフの確保も困難になることから、DXの推進に伴う業務効率化は必要不可欠であり、当院においても医療の質の向上のほか、医療安全や情報セキュリティ、業務の効率化等の様々な側面からデジタル化への対応を検討しました。

評価

項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 電子カルテシステムの更新に向けた取組	A	**A**		
2 各種システムの導入・更新に向けた取組	A	**A**		
3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	B	**A**		
4 情報セキュリティ対策の推進	A	**A**		

取組内容

1 電子カルテシステムの更新に向けた取組

○ 現行の電子カルテシステムについて、2031年（令和13年）にメーカーによるサポートが終了することが判明しており、電子カルテシステムの更新における中長期計画を立案し、計画的に進めました。

2 各種システムの導入・更新に向けた取組

○ 入院時説明や各種指導等の説明業務の負担軽減や各種案内における患者さんの理解度向上のために、Web説明動画システムを導入しました（2026年3月時点で16動画運用中）。
また、医師等の診療録記載業務の軽減のためにデジタル問診票を導入し、令和8年度からの稼働に向けてシステム環境を整備しました（2026年4月から3科にて導入開始）

○ 従前の更新計画に基づき、経年によるシステム及び機器の更新を実施しました。また、前年度に新規導入が決定した超音波画像解析ソフトウェアを導入しました。

3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

○ AIを搭載した文書作成や勤務表作成システム、音声入力、スマートフォン等の業務効率化につながる様々なシステムについて検討を進めました。

4 情報セキュリティ対策の推進

○ 昨今の医療機関に対するサイバー攻撃の増加に対応するため、サイバー攻撃を想定した事業継続計画を策定しました。この事業継続計画は、サイバーインシデント発生時における、当院の基本的な対応方針及び職員の取るべき行動原則を示すことにより、医療安全を担保しながら、早期復旧につなげ、持続的な医療サービスの提供を行うことを目的としています。

5 経営の効率化等

（1）目標達成に向けた具体的な取組

ア　費用の縮減	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**B**		

取組内容（総括）	各委託業務について管理メンバーを含めた経営コアプロジェクトにて実態把握を行うなど、業務の効率化と費用削減に向けた課題抽出について検討を行いました。

取組内容	**1 委託料の削減及び仕様の見直し** ○ 総合管理業務については、人件費の高騰により約3,750万円増加しました。 ・ 内、ベッド搬送業務を平日の午後４人体制を２人体制に見直すことにより約200万円費用を削減しました。 ・ 内、警備業務については仕様を見直し、前年度から約1,000万円費用を削減しました。また、同一業者が業務にあたることで業務の効率化を図りました。 ○ 医事業務委託において、人件費等の増加に伴う費用（約3,000万円）の代替として、業務内容を次のとおり変更し、前年度と同額で契約しました。 ・ 外来の運用を見直し、外来クラーク業務の軽減を図りました。 **2 その他** ○ 手術等で使用した診療材料（保険請求可能なもの）について医事請求内容と突合チェックする仕組みを導入し、請求漏れの防止を図りました。

イ　組織改正及び定数の見直し	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A	**A**		

取組内容（総括）	救急医療やリハビリ医療の充実及び西館等再整備事業に向けて定数の見直しを行いました。

取組内容	**1 定数の見直し** ○ 診療部において医師の定数を2人増員し、医療技術部においては理学療法士を2人、作業療法士を1人、言語聴覚士を1人増員しました。また、西館等再整備に係る準備のため事務職員を2人増員しました。 **2 リハビリテーション室の計画的な人員採用について** ○ リハビリテーション室において、土日にリハビリを行うことができる体制を構築するための人員について、計画的に採用を進めています。リハビリのニーズはあるため、診療報酬による収益も見込んでいます。

ウ　診療報酬の確保

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
A	**A**		

取組内容（総括）

プロジェクトで検討した取組を、医事課・診療報酬担当が引き継ぎ、診療報酬の確保に努めました。また、医事課と各診療科による診療報酬をテーマとしたカンファレンスを定期的に開催するとともに、DPCコーディングの検討に特化したコマンドチームを立ち上げました。現在は、消化器外科、消化器内科、整形外科、脳神経内科、循環器内科、血液内科、泌尿器科、呼吸器内科、腎臓内科、産婦人科において毎週又は隔週で活動を行っています。

取組内容

1 令和8年度診療報酬改定への対応予定（主な新規届出項目）

・急性期病院A一般入院料 （2026年（令和8年）6月～）
・急性期総合体制加算（2026年（令和8年）6月～）
・電子的診療情報連携体制整備加算（2026年（令和8年）6月～）　等

2 診療報酬の確保に関する取組

・施設基準自主点検の実施
・各加算の算定件数増に向けた対策の実施
・レセプト返戻・査定の検討のための診療科定期カンファレンスの実施
・正確なDPCコーディングのためのコマンドチームの実施
・診療材料（保険償還材料）に関わる算定状況チェックの実施
・各部門システムと医事会計マスタのチェック体制の構築

3 各部門に関連する加算等の算定件数確保に向けた取組

各指導、チーム活動の充実のため課題検討を行い、適切な指導の実施に努めました。また、医事課と各診療科とによる診療報酬をテーマとしたカンファレンスを定期的に開催し、DPCコーディングやレセプト査定に関する検討を行っています。

数値・指標

1 診療報酬管理体制検討プロジェクトによる検討内容・取組

・ 救急医療管理加算の延算定件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
救急医療管理加算	23,241	27,226	36,092	31,477	▲ 4,615

2 患者1人1日あたりDPC包括点数

（単位:点）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
患者1人1日あたりDPC包括点数	2,518	2,521	2,575	2,602	27

3 取組の結果増加した主な加算等の延算定件数

（単位:件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
認知症ケア加算1	4,465	4,187	5,178	5,074	▲ 104
せん妄ハイリスク患者ケア加算	3,000	3,327	5,237	8,247	3,010
薬剤管理指導料	11,766	12,446	13,804	14,705	901
入退院支援加算1	8,891	10,973	12,102	12,998	896
入院栄養食事指導料1	1,521	1,492	1,726	1,661	▲ 65

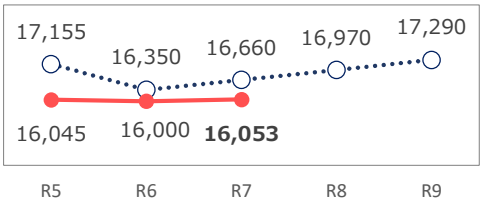
資料2　数値目標の達成状況

※ ＫＰＩ指標

(1) 新入院患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	17,155	16,350	16,660	16,970	17,290	-
実績	16,045	16,000	16,053			53
対計画比		97.9%	96.4%			(100.3%)
評価		b	b			



【取組内容等】

新入院患者数ついては、実績は16,053人となり、計画値を607人（3.6%）下回りましたが、前年度と比較すると、ほぼ同水準となりました。

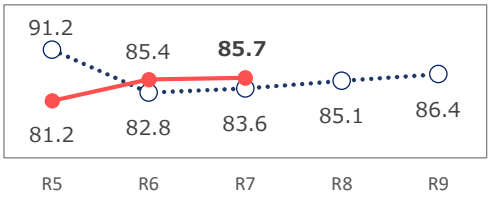
【今後の取組や課題等】

新入院患者の獲得のため、引き続き紹介・逆紹介の推進や救急患者の受入れに努めます。

(2) 病床稼働率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	91.2	82.8	83.6	85.1	86.4	
実績	81.2	85.4	85.7			0.3pt
対計画比		103.1%	102.5%			
評価		a	a			



【取組内容等】

病床稼働率については、実績は85.7%となり、計画値に対して2.1ポイント上回り、前年度と比較しても0.3ポイント改善しました。

職員ポータルを活用した病床稼働状況の可視化により、院内全体で病床運営に対する意識の向上を図るとともに、DPC入院期間Ⅱ以内を意識した病床管理を進めるとともに、救急病棟から一般病棟への転棟がよりスムーズに行えるように努めました。

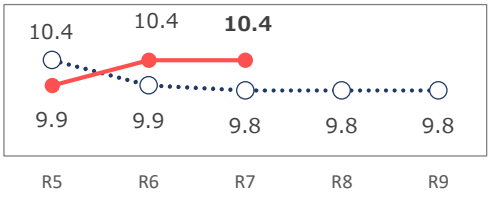
【今後の取組や課題等】

院内全体の病床稼働率に対する意識の醸成をより高めていくことや新規患者の確保及びDPC入院期間Ⅱを意識した病床管理を継続していくことが必要です。

(3) 平均在院日数

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	10.4	9.9	9.8	9.8	9.8	
実績	9.9	10.4	10.4			0.0pt
対計画比		95.2%	94.2%			
評価		b	b			



【取組内容等】

平均在院日数については、実績は10.4日となり、計画値に対して0.6日延びましたが、前年度実績と同水準となりました。DPC入院期間Ⅱを意識した病床管理により、在院日数は計画よりも長くなっていますが、患者さんへの適切な医療提供と適正かつ安定的な病床運営に努めました。

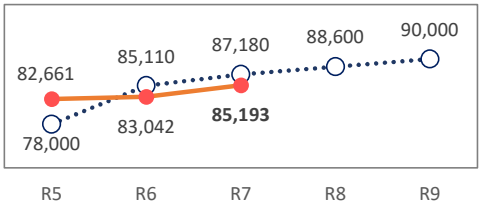
【課題や今後の取組等】

DPC入院期間Ⅱを意識した在院日数管理に努め、クリニカルパスの推進、管理を進めるとともに後方医療機関との転院調整がスムーズに行えるよう、院内外の連携を強化してまいります。

(4) 入院患者1人1日当たり診療収入

（単位：円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	78,000	85,110	87,180	88,600	90,000	
実績	82,661	83,042	85,193			2,151
対計画比		97.6%	97.7%			(102.6%)
評価		b	b			



【取組内容等】

精度の高いDPCコーディングを行うため診療科と医事課との蜜な連携、各加算の適切な算定に向けた対策等を行いました。計画値に対して1,987円（2.3%）下回りましたが、前年度と比較して2,156円増加しました。

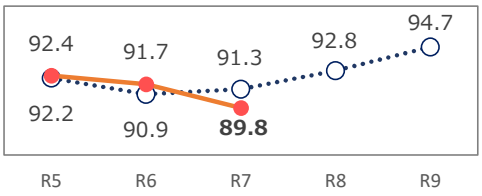
【今後の取組や課題等】

診療報酬を適切に算定するとともに、救急患者や手術適用の患者の確保及び最新治療の導入の検討を進めていく必要があります。

(5) 修正医業収支比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	92.2	90.9	91.3	92.8	94.7	
実績	92.4	91.7	89.8			▲ 1.9pt
対計画比		100.9%	98.4%			
評価		a	b			



【取組内容等】

（『2 収支計画に対する決算の状況について』（P.3）参照）

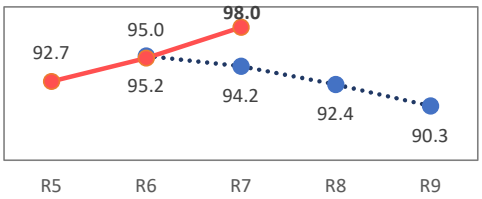
【今後の取組や課題等】

(6) 修正給与費等負荷率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画		95.2	94.2	92.4	90.3	
実績	92.7	95.0	98.0			3.0pt
対計画比		100.2%	96.1%			
評価		a	b			

※給与費等負荷率＝（給与費＋委託料）／（医業収益－材料費）×100



【取組内容等】

修正給与費等負荷率は98.0%となり、計画値と比較して3.8ポイント悪化しました。一方で、（医業収益－材料費）は前年度と比較して3.8%増加しましたが、（給与費＋委託料）は7.0%増加したため、前年度と比較すると3.8ポイント悪化しました。

【今後の取組や課題等】

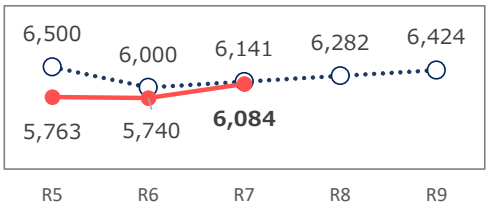
令和8年度も引き続き人件費や原材料価格の高騰は継続するため、給与費、委託料、材料費は増加する見込みです。そのため、収益確保の取組に加えて、費用（給与費及び委託料）の見直しが必要と考えます。

1 医療機能に係るもの

(1) 手術件数

（単位：件）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	6,500	6,000	6,141	6,282	6,424	
実績	5,763	5,740	6,084			344
対計画比		95.7%	99.1%			(106.0%)
評価		b	b			



【取組内容等】

手術件数については、年間6,084件となり、計画値を57件（0.9%）下回りました。令和6年度実績に基づき、令和７年度も手術枠の見直しを行い、手術室の効率的な稼働に努めました。

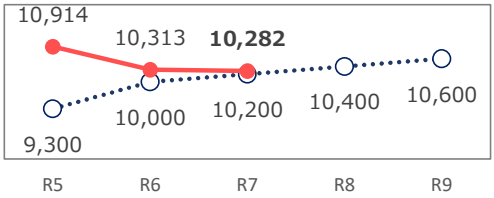
【今後の取組や課題等】

手術件数の増加に伴い、麻酔科医等の医療職の確保やより効率的な手術室の運営体制の検討を進めてまいります。

(2) 救急車搬送受入患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	9,300	10,000	10,200	10,400	10,600	
実績	10,914	10,313	10,282			▲ 31
対計画比		103.1%	100.8%			(99.7%)
評価		a	a			



【取組内容等】

救急車搬送受入患者数については、年間10,282件となり、計画値を82件（0.8%）上回りましたが、前年度と比較すると31件の減となりました。

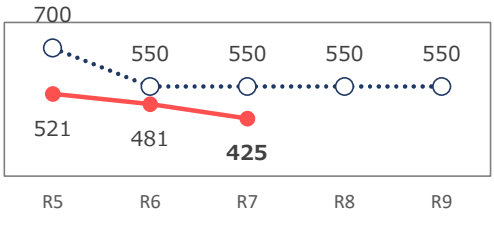
【今後の取組や課題等】

消防との定期的なカンファレンス等連携強化を進めてまいります。

(3) 分娩件数

（単位：件）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	700	550	550	550	550	
実績	521	481	425			▲ 56
対計画比		87.5%	77.3%			(88.4%)
評価		b	c			



【取組内容等】

分娩件数については、年間425件で、計画値と比較して125件（22.7%）の減となり、前年度と比較しても、56件（11.6%）の減となりました。令和7年10月から、周産期医療の確保のため、硬膜外麻酔による無痛分娩（麻酔分娩）を開始し、麻酔科医・産婦人科医・助産師が共同して安全な無痛分娩を実施できる体制を整えました（令和7年度実績は6件）。

【今後の取組や課題等】

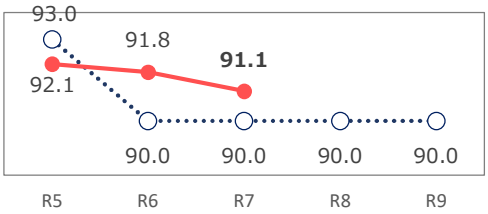
お祝い膳等サービス面の見直しを検討するとともに、情報発信強化を進めてまいります。

2 医療の質に係るもの

(1) 入院患者満足度総合評価

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	93.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
実績	92.1	91.8	91.1			▲ 0.7pt
対計画比		102.0%	101.2%			
評価		a	a			



【取組内容等】

令和7年度は、10月27日から1月30日の計3か月間で実施いたしました。総合評価の計画値として90.0%を設定していましたが、実績は91.1%となり、達成度は101.2%となりました。具体的なご意見として、季節の変わり目における急激な寒暖差も影響しておりますが、院内の空調管理に対するご指摘が複数寄せられておりました。

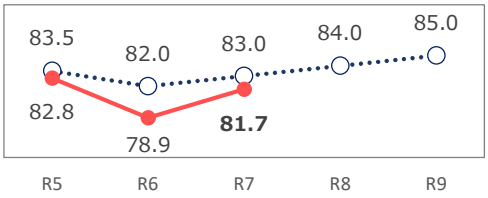
【今後の取組や課題等】

総合評価で「おおむね満足以上」は91.1%と高い評価をいただきましたが、一方で設備面等に関していただいたご意見について、今後検討を進める西館等再整備事業とも併せて、患者さんが快適に療養できる環境作りについて対応を検討してまいります。

(2) 外来患者満足度総合評価

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	83.5	82.0	83.0	84.0	85.0	
実績	82.8	78.9	81.7			2.8pt
対計画比		96.2%	98.4%			
評価		b	b			



【取組内容等】

令和7年度は、11月10日から11月14日の計5日間で実施いたしました。総合評価の計画値として83.0%を設定していましたが、実績は81.7%となり、達成度は98.4%となりました。

【今後の取組や課題等】

診療予約の取りやすさ、待ち時間縮小に向け予約枠の見直し等利便性の向上を図ってまいります。職員接遇面や設備面等のご意見について真摯に受止め、適宜改善を図ってまいります。

(3) DPC特定病院群の「設定要件」充足項目数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画		-	8/8	-	8/8	
実績	8/8	-	7/8	-		
対計画比			-			
評価			-			

【取組内容等】

診療報酬改定は基本的に2年ごとに行われ、DPC（診断群分類包括評価）制度における特定病院群の指定も、この診療報酬改定に合わせて見直されます。2026年（令和8年）3月上旬に告示・通知が示され、2026年（令和8年）6月1日からDPC標準病院群1の指定を受けました。次回の点検評価は令和9年度となります。

【今後の取組や課題等】

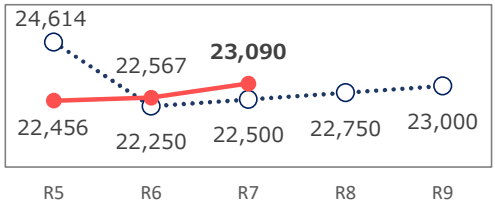
診療報酬改定にて複雑性指数の算出方法の変更が行われたことで、補正複雑性指数が基準値を満たしませんでした。特定病院群の設定要件は急性期病院としての1つの指標であることから、その指標で求められている診療が出来るよう取り組んでまいります。

3 連携の強化等に係る数値目標

(1) 紹介患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	24,614	22,250	22,500	22,750	23,000	
実績	22,456	22,567	23,090			523
対計画比		101.4%	102.6%			(102.3%)
評価		a	a			



【取組内容等】

紹介件数は、計画値に対して590件（2.6%）上回り、前年度と比較して、523件増加しました。各診療科の外来初診枠の増加や地域医療機関への訪問活動を強化、紹介時診療申込書の記載項目や予約取得時のルールを簡素化し、スムーズに予約が取れる運用を整備しました。

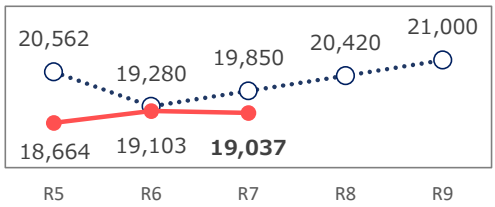
【今後の取組や課題等】

地域医療機関への訪問活動について、継続的かつ訪問数の更なる増加、情報発信をタイムリーに行える体制構築が課題となります。

(2) 逆紹介患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	20,562	19,280	19,850	20,420	21,000	
実績	18,664	19,103	19,037			▲ 66
対計画比		99.1%	95.9%			(99.7%)
評価		b	b			



【取組内容等】

逆紹介件数について、計画値に対して813件（4.1%）下回り、前年度と比較して、66件減少しました。各診療科ごとに患者さんの治療状況に応じた適切な時期の逆紹介に努めております。

【今後の取組や課題等】

紹介を受けた医療機関に対して、診療の経過報告、当院治療後の継続診療の依頼を適切に推進してまいります。

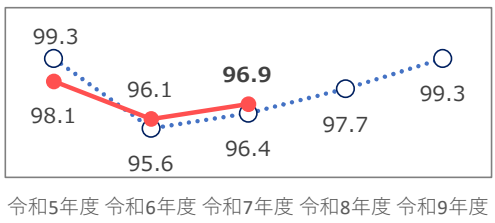
4 収支改善に係るもの

(1) 経常収支比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	99.3	95.6	96.4	97.7	99.3	
実績	98.1	96.1	96.9			0.8pt
対計画比		100.5%	100.5%			
評価		a	a			

【指標：経常収益/経常費用×100】



【取組内容等】

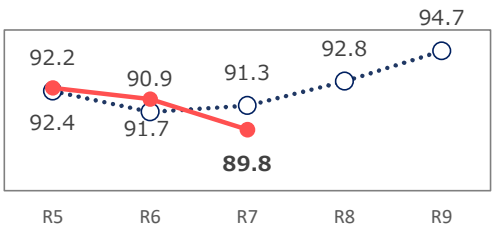
（『2 収支計画に対する決算の状況について』（P.3）参照）

【今後の取組や課題等】

(2) 修正医業収支比率（再掲）

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	92.2	90.9	91.3	92.8	94.7	
実績	92.4	91.7	89.8			▲ 1.9pt
対計画比		100.9%	98.4%			
評価		a	b			



【取組内容等】

（『2 収支計画に対する決算の状況について』（P.3）参照）

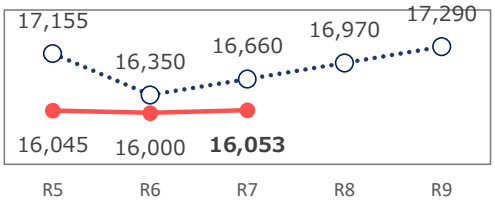
【今後の取組や課題等】

5 収入確保に係るもの

(1) 新入院患者数（再掲）

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	17,155	16,350	16,660	16,970	17,290	
実績	16,045	16,000	16,053			53
対計画比		97.9%	96.4%			(100.3%)
評価		b	b			



【取組内容等】

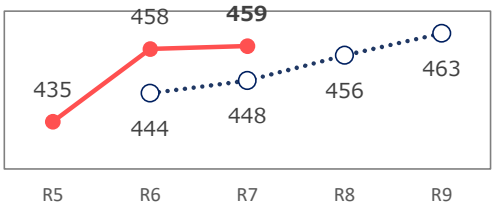
（資料２『数値目標の達成状況』（P.29）参照）

【今後の取組や課題等】

(2) 1日当たり入院患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画		444	448	456	463	
実績	435	458	459			1
対計画比		103.2%	102.5%			(100.2%)
評価		a	a			



【取組内容等】

1日あたり入院患者数は、計画に対して11人（2.5%）上回りました。新規患者の確保に向けた地域連携活動やＤＰＣ期間を意識した在院管理等の取組により、前年度と比較してほぼ同水準となりました。

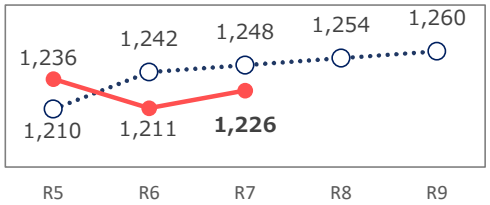
【今後の取組や課題等】

新入院患者の確保に努めるとともにDPC期間を意識した在院管理に努めてまいります。

(3) 1日当たり外来患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	1,210	1,242	1,248	1,254	1,260	
実績	1,236	1,211	1,226			15
対計画比		97.5%	98.2%			(101.2%)
評価		b	b			



【取組内容等】

1日当たり外来患者数は、計画値を22人（1.8%）下回りましたが、前年度と比較して15人増加しました。また初診患者は、前年度と比較して325人減少しました。

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年増減数
外来初診患者数	32,413	30,695	30,370	▲ 325

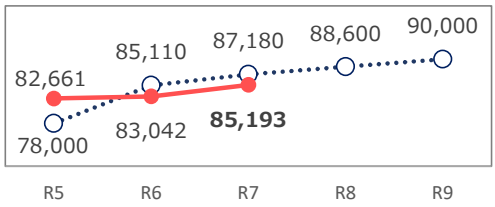
【今後の取組や課題等】

新規患者さんの確保に向けて、診療予約をスムーズに受ける体制作り、各医療機関訪問等による連携強化などを進めてまいります。

(4) 入院患者1人1日当たり診療収入（再掲）

（単位：円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	78,000	85,110	87,180	88,600	90,000	
実績	82,661	83,042	85,193			2,151
対計画比		97.6%	97.7%			(102.6%)
評価		b	b			



【取組内容等】

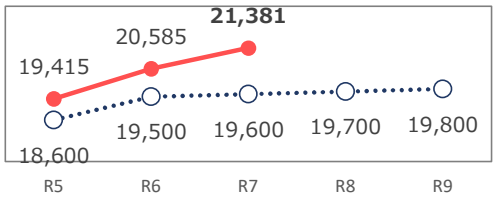
（資料２『数値目標の達成状況』（P.30）参照）

【今後の取組や課題等】

(5) 外来患者1人1日当たり診療収入

（単位：円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	18,600	19,500	19,600	19,700	19,800	
実績	19,415	20,585	21,381			796
対計画比		105.6%	109.1%			(103.9%)
評価		a	a			



【取組内容等】

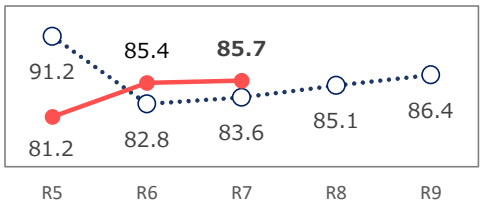
外来患者1人1日当たり診療収入は、計画値を1,781円（9.1%）上回り、前年度と比較して796円（3.9%）増加しました。外来化学療法等において、新規導入の抗がん剤の高額化が診療単価の増加の大きな要因となっています。
その他がん患者さんに対する指導料の取得のほか、各種加算について適切な算定に努めました。

【今後の取組や課題等】

引き続き新規外来患者の確保対策を進めるとともに、今後も見込まれる高額薬剤や新規検査等の保険収載に対応し、適切な診療報酬の算定により診療収入の確保に努めてまいります。

(6) 病床稼働率（再掲）　（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	91.2	82.8	83.6	85.1	86.4	
実績	81.2	85.4	85.7			0.3pt
対計画比		103.1%	102.5%			
評価		a	a			

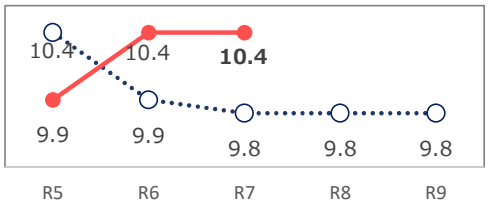


【取組内容等】
（資料２『数値目標の達成状況』（P.29）参照）

【今後の取組や課題等】

(7) 平均在院日数（再掲）　（単位：日）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	10.4	9.9	9.8	9.8	9.8	
実績	9.9	10.4	10.4			0.0pt
対計画比		95.2%	94.2%			
評価		b	b			



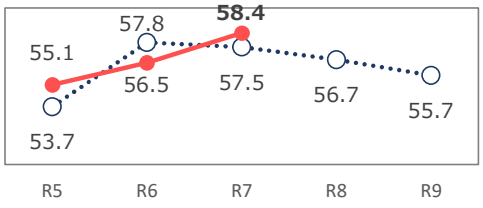
【取組内容等】
（資料２『数値目標の達成状況』（P.29）参照）

【今後の取組や課題等】

6 経費削減に係るもの

(1) 職員給与費対医業収益比率　（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	53.7	57.8	57.5	56.7	55.7	
実績	55.1	56.5	58.4			1.9pt
対計画比		102.3%	98.5%			
評価		a	b			



【取組内容等】
職員給与費対医業収益比率は、計画値から0.9ポイント悪化しました。前年度と比較すると、給与費の増（8億1,493万円）が医業収益の増（7億3,348万円）を上回るため、対前年比は1.9ポイント悪化しました。

○職員給与費の主な増減（実績ベース）　（単位：百万円）

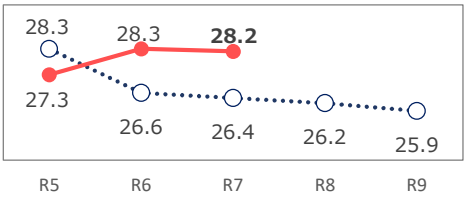
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減額	（対前年比）
給料	3,628	3,819	4,031	212	(105.6)
手当	3,783	4,107	4,328	221	(105.4)
報酬	296	985	1,079	94	(109.5)
法定福利費	1,425	1,443	1,604	161	(111.2)

【今後の取組や課題等】
令和8年度も人事院勧告に基づく給与改定に加え、二交代制や働き方改革の促進に伴い給与費の増加が見込まれます。診療報酬改定に対応し、収益確保及び費用削減の強化が必要です。

(2) 材料費対医業収益比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	28.3	26.6	26.4	26.2	25.9	
実績	27.3	28.3	28.2			▲ 0.1pt
対計画比		94.0%	93.6%			
評価		b	b			



【取組内容等】

材料費対医業収益比率は、計画値から1.8ポイント悪化しました。対前年度実績に対しては、物価高騰や抗がん剤の高額化等の影響もありましたが、医業収益の7億3,348万円（8.4%増加）に対し、材料費は1億8,417万円（11.9%）の増加だったため、前年度と同水準となりました。

○材料費の主な増減（実績ベース）

（単位：百万円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減額
診療材料費	2,142	2,262	2382	120
薬品費	3,003	3,333	3390	57

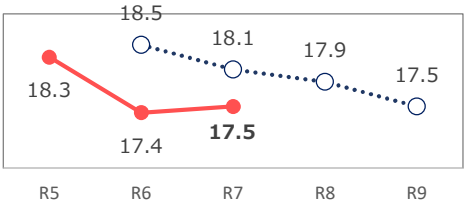
【今後の取組や課題等】

原材料や物価高騰は令和8年度以降も継続する見込みです。保険請求の漏れ防止や適切な在庫管理を推進し、費用削減に努めます。

(3) 経費対医業収益比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画		18.5	18.1	17.9	17.5	
実績	18.3	17.4	17.5			0.1pt
対計画比		106.3%	103.4%			
評価		a	a			



【取組内容等】

経費対医業収益比率は、計画値に対し医業収益が2.4%増加したことに加えて、主に光熱水費が計画値を大きく下回ったため、経費は約5,500万円（1.5%）減少し、計画値から0.9ポイント改善しました。

○経費の主な増減（実績ベース）

（単位：百万円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減額
光熱水費	451	500	477	▲ 23
厚生福利費	36	2	2	0
修繕費	152	123	142	19

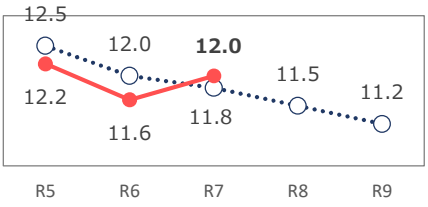
【今後の取組や課題等】

エネルギー価格や原材料の高騰は令和8年度も継続する見込みです。西館をはじめ建物の老朽化に伴い、今後修繕費の増加が見込まれます。

(4) 委託費対医業収益比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	12.5	12.0	11.8	11.5	11.2	
実績	12.2	11.6	12.0			0.4pt
対計画比		103.4%	98.3%			
評価		a	b			



【取組内容等】

委託費対医業収益比率は、医業収益は計画値と比較して4億9,845万9千円、2.4%増加しましたが、委託料は、最低賃金等の上昇により計画値と比較して1億764万円（4.4%）増加したため、計画値から0.2ポイント悪化しました。

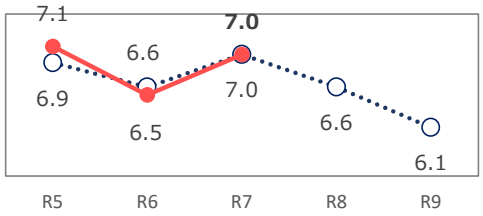
【今後の取組や課題等】

令和7年度において、最低賃金は過去最大の上げ幅となり、神奈川県では63円の上昇となりました。令和8年度以降も費用の増加が見込まれるため、仕様書の見直しを今まで以上に取り組む必要があります。

(5) 減価償却費対医業収益比率

（単位：%）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	6.9	6.6	7.0	6.6	6.1	
実績	7.1	6.5	7.0			0.5pt
対計画比評価		101.5% a	100.0% a			



【取組内容等】

減価償却費対医業収益比率は、高額な医療器械の更新等により減価償却費は計画値に対し2.1%増加しましたが、医業収益が2.4%増加したことにより、計画値と同水準となりました。

○減価償却費の主な増減（実績ベース）

（単位：百万円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減額
器械備品減価償却費	459	499	624	125
リース資産減価償却費	159	96	29	▲ 67

【今後の取組や課題等】

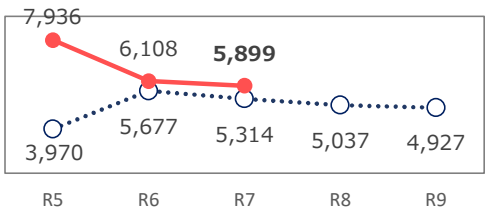
今後は、西館等再整備事業など建物や医療器械の更新が多くなり、大幅な減価償却費の増加が見込まれるため、計画的に医療器械等の更新を進めていく必要があります。

7 経営の安定性に係るもの

(1) 現金保有残高

（単位：百万円）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減（比率）
計画	3,970	5,677	5,314	5,037	4,927	
実績	7,936	6,108	5,899			▲ 209 (96.6%)
対計画比評価		107.6% a	111.0% s			



【取組内容等】

現金保有残高は、計画値に対し5億8,500万円上回っておりますが、人件費等の増加や高額な医療器械の更新等により、前年度と比較すると2億900万円減少しました。

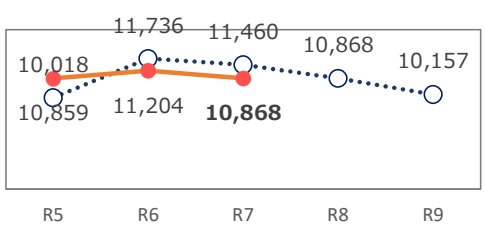
【今後の取組や課題等】

令和8年度以降も人件費や物価高騰等による材料費・経費が増加することや西館等再整備事業など大幅な現金支出が見込まれることから運転資金の確保を最優先に取り組んでいく必要があります。

(2) 企業債残高

（単位：百万円）

	2023年（R5）	2024年（R6）	2025年（R7）	2026年（R8）	2027年（R9）	対前年増減（比率）
計画	10,018	11,736	11,460	10,868	10,157	
実績	10,859	11,204	10,868			▲ 336 (97.0%)
対計画比評価		104.7% a	105.4% a			



【取組内容等】

企業債残高は、令和6年度の借入金額が計画値から5億3,200万円下回ったことにより、令和7年度の企業債残高は計画値から5億9,200万円減少しました。

【今後の取組や課題等】

令和8年度以降も引き続き医療器械等の更新があることから経営状況や資金状況など総合的に踏まえて、企業債の借入を行っていく必要があります。